

読書バリアフリー研究会 アンケート回答 (2016_10_30 秋田会場)

～みんなに読む喜びと楽しさを伝えよう～

参加者 **30**、アンケート回収 **25**

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・雑誌	0	
ちらし・DM	9	
友人・知人の紹介	3	
ウェブサイト・ブログ	4	当財団 HP 1、音ボラネット HP 1、県立図書館 HP 1
メールリスト	1	LD ニュース 1
その他	7	図書館 4、職場 2
未記入	1	
合計	25	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
21	4	0	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由
<ul style="list-style-type: none"> ・有効なサポートのあり方、読めるようになる事と読む補助をする事の違い、実際に使える意味の伝達、理解、面白さ、感動、行動へのアプローチについて、合理的配慮の適用の仕方を教わった気がした。 ・バリアフリーについてとても勉強になりました。今までなかったので中央だけでなく、県南、県北でも開催してほしいと思います。 ・学習障害と発達障害の違いが分かり(分かりやすい説明)、子どもたちの見方を変えられるのではないかと思った。 ・障害を持つ方(特に学習障害、読み書きができないなど)について、深く知ることが出来ました。それぞれの障害に合わせた本、メディアの活用をされ、根気のいる対応も丁寧にされていることに、頭の下がる思いでした。障害を持つ人は周りに結構いる、気づかないだけ。その人たちに寄り添うことを常に忘れないで活動していきたいと感じました。 ・このような研修の機会を用意していただき大変ありがたく感謝しています。秋田にいと、ネットや書籍で目にすることはあっても実際にお話を伺うことがないので、研修会は貴重です。人がつながる機会にもなります。どの講座もすばらしく、小学校に勤務する者としては、教育関係者が少なくとても残念でした。 ・小学校の図書館を支援しています。授業中に教室に居ることが難しい児童が、良く図書館に来て、本を読んだり、個人勉強をしています。また、特別支援学級でよく読み聞かせをしたり、図書を貸し出しています。小学校のいろんな児童のことが気になっていました。すばらしいお話ありがとうございました。 ・通級指導教室を担当しています。学習障害の疑いのある生徒が多く来室しており、具体的にどのような支援をしたらいいのか悩む毎日です。子どもたちの困り感をととても具体的に伝えていただいたことで支援の方向性がはっきり見えてきたように思います。今日は来て本当に良かったです。本を読むために、学習を理解するために、この子に必要なものは何か

見つけていきたいと思いました。

- ・障害児にたずさわっている方の、具体的、実感のある内容でした。
- ・AAC は子どもだけではなく、高齢者にも必要となるアイテムだと感じた。
- ・障害のある人だけではなく、外国人など多様な人が支援を必要としている。
- ・音訳ボランティア(校正・編集)に関わって 30 余年、子どもたちを取り巻く障害の多様さを知らなすぎ、また、それに対応する支援の方法を知って良かった。地方に住んでいてもっと利用者がこうしたことを知り要望を出さなければなかなか普及しないと思い、こうした機会も活かされないのではと思った。
- ・障害を持つ子どもに対する支援の実践やツール等を学ぶことが出来、大変有意義でした。
- ・特別支援学校に勤務しています。図書情報教育部という分掌のチーフをしていて、図書(読書)の充実とデジタル機器の活用、両方の視点から、子どもたちに学習の機会を保障しようと試みています。DAISY 図書、わいわい文庫については、パンフレット等で見ることはありましたが、今、自分が関わっている業務にぴったりの内容でした。また、谷本先生のお話は、他校の読書活動の取り組みについても知ることが出来、参考になりました。明日からの仕事のヒントがたくさん見つかりました。
- ・一人一人に必要な配慮とは何なのか、改めて考えさせられました。「合理的配慮」という言葉の意味が、これまでより少し理解できた気がします。
- ・障害のある方の合理的配慮について、ICT を中心に様々なお話を伺うことが出来た。周囲の環境を工夫することによって、読みやすさ、学びやすさが変わってくるという事を具体例をたくさんあげていただき、理解が深まった。
- ・谷本先生が自分が困難な状況になった時、どうやってコミュニケーションをとるかと話された時、バリアフリーというのは子どもだけでなく、これから年を重ねていく私たちにももっと PR されなければならないものだと感じました。老眼になり、加齢で難聴に悩む世代にも読書バリアフリーは必要です。障害のある子どもたちの未来もそうですが、世界一の高齢県の秋田でも、いろんなツールで読書を楽しんでいけると確認しました。
- ・障害についてなど、今まで理解していなかったことについてのお話が聞けて、改めて気づかされたことなど、心に残るお話がたくさんありました。健常者が当たり前に行えることを、障害を持った方たちも不便を感じることなく当たり前に行える社会であってほしいと思いました。私は音訳ボランティアをしているので、今自分に一番できることは、子どもから大人まで、必要とされる書物や絵や表など、なんでも読んで利用してほしいと思いました。
- ・学習障害の勉強は初めてです。ここまで深い勉強ができるとは思わなかったです。子どもの気持ちと立場に沿ってくださり、有難いです。いろいろなタイプの本を読んで、どんな形でも楽しんでもらいたい。
- ・河野先生のお話を楽しみにしていました。聞くことが出来て満足です。ほかにも様々な視点からの具体的な話を、講師の先生方からたくさん聞くことが出来、期待以上の研修となりました。無料という事がびっくりです。ありがとうございました。
- ・肢体不自由特別支援学校に勤務しております。ICT 等、様々参考になりました。
- ・それぞれの専門分野の先生方の貴重なお話を聞くことが出来て、充実した一日でした。まだまだ、世間に広まるには大変ですが…。私は音訳ボランティアの立場ですが、公立図書館の方の参加があったようで、良かったです。道づれ矢部さんの元気なお声に励まされ、がんばろうと思いました。
- ・配慮と「甘やかし」、配慮と「特別扱い」。ここはよく論点になるところですが、障害に対する配慮とは特別扱いをすることだとの河野先生のお話に、我が意を得たりの思いがしました。

- ・知らなかったことがたくさんあり、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・一度でたくさんの情報をいただき、大変勉強になりました。皆さんの熱い思いが伝わってきましたし、自分たちも、もう一歩子どもたちのために進まなくてはという思いを強くしました。ありがとうございました。

やや満足の理由

- ・講師の先生の講義があまりに機器に頼りすぎ。もっと自分の言葉で説明していただきたいかった(アナログ系の私にとっては)。
- ・河野先生のお話は大変参考になった。教育の視点ではなく、支援を念頭に置いており、使えるものばかりであった。
- ・マルチメディア DAISY がどのように子どもたちの役に立っているのか、その一部分を知ることが出来て良かった。
- ・発達障害が専門ですが、読みを中心とした話で、興味をもって聞くことが出来た。実践に生かせそうです。

3. その他、お気づきの点がございましたら何でもお聞かせ下さい。

- ・ポスターでは敷居が高いイメージであった。もっと開放的に呼びかけてはどうか。
- ・出羽の国によろこそ！ 広く息の長い活動を祈念いたします。自分の出来ることを考えます。
- ・支援の必要な子どもにも、それぞれ障害の程度や個性があり、個別のきめ細やかな対応が必要だと感じました。すべての子どもたちに、本の面白さ、楽しさを知ってもらいたいと思います。わいわい文庫の活動、とてもすばらしいと思います。
- ・いつかまた、特別支援教育(広く関係者)に携わる人への研修会が企画されたら来ていただくことはできるものでしょうか(例えば、AD/HD 児者の親の会、アインシュタインの会、通級指導教室、難聴言語障害教育研究会等)。本校は知的、情緒、肢体不自由、難聴の4つの特別支援学級があり、通常学級に発達障害の子がたくさんいる200人足らずの学校です。お二人の社会貢献への志を有難く、どうか広げてほしいと思います。応援できることがあれば何でもやりたいと思いました。
- ・昔話について。「昔ばなし大学」主催、小澤俊夫先生の口承文学的表現のお話は耳から覚えるにはとても良いです。
- ・現場で授業に携わっている先生に、もっと参加してほしかった。
- ・DAISY 図書を、「リーダー」で再生すると悩みが解決できる事が分かり、とてもありがたかったです！ さっそく活用します。
- ・テキストデータの誤字の直しのボランティア活動をしています。まだ数タイトルしか編集してなく自信がありません。校正箇所がぼう大です。自信をつけてから協力したいです。
- ・どんな障害にもいろいろきめ細かい支援方法が開発され、時代の進歩、基本的人権への配慮がなされ、幸せな世の中になったと思う(まだまだ全体への拡がりとは言えないけれど)。こんな世の中が(人が)多く広がることを望む(微力ながらも関心を持ちながらボランティア活動を続けていきたい)。
- ・数年に一度でもよいので再度開催していただきたい。
- ・各校にCDを配布されていると聞いていましたが、お恥ずかしながら、この担当になって日が浅く、学校にあるのかも不明です。CDは必要ですので、後日改めてお願いしたいと思います。その際はよろしく願います。
- ・河野先生のお話はぜひ多くの現場の先生に聞かせたい内容でした。

- ・特別支援教育に関する仕事をしていますが、多くの人に関心を持ってもらい、理解を広めていただくことは大変ありがたいことだと思います。ぜひ多くの方々に広報していただければさらに参加者も増えるように思います(市の広報、新聞等)。今日は、大変有意義な機会をありがとうございました。
- ・このような勉強会があることを初めて知り、参加させていただきました。いろんなところで活躍されている講師の先生方のお話はすばらしかったです。学校でのボランティア活動や社会人のボランティア活動が広がっていますので、だんだん認知されてくるのではないかと思います。今は財団が中心になり、関係者を結びつけていますが、活動が広がると学校でも病院でも図書館でも普通の光景になると思います。ありがとうございました。
- ・遠路はるばる秋田までお疲れさまでした。今日は暖かくて何よりです。すばらしいお仕事ですね。わいわい文庫、作る方も利用される方ももっと増えて、読書を楽しんでほしいです。
- ・視覚支援のコミュニケーションには「触る」、「嗅ぐ」という分野もあるのではないですか。
- ・今年初めての講座に感謝します。今後も継続してほしい。
- ・どのような方々が参加されているのか。ぜひ普通教育をされている先生方にも聞いてもらいたいと思った。
- ・未記入 10